

地域づくりの ビジョンと行動

医療と介護をめぐる住民・事業者・行政の役割を考える

日々暮らしている地域の中で、安全、安心、そしてより快適な生活を続けるために、私たちは、どのような課題に直面し、またそれらの課題に立ち向かうために、どのような努力が必要なのでしょう。

医療と介護を充実させる視点から、住民・事業者・行政がそれぞれの立場で、地域づくりのビジョンを出し合い、できるところから行動する。この公開学術シンポジウムを、そのために必要な情報を収集し、経験を交流し、知恵を付ける機会としたいと考えています。



2017 **11.15** (水)
13:00開会

PROGRAM

13:00 開会挨拶 佐藤 卓利 (立命館大学社会システム研究所・所長／経済学部・教授)

13:05 基調講演

「最後まで自宅で暮らすための医療と介護 ～住民は何を心掛けるべきか～」



堀田 力氏

(公益財団法人さわやか福祉財団・会長／弁護士)

1934年京都府生まれ。京都大学卒業後、検事任官。東京地検特捜部ではロッキード事件の捜査を担当。91年の退官後、さわやか法律事務所およびさわやか福祉推進センター(現:公益財団法人さわやか福祉財団)を開設。

14:05 事例報告

「滋賀県における医療・介護の連携推進について」

藤本 武司氏 (滋賀県健康医療福祉部・部長)

14:35 休憩

14:45 事例報告

「ケアマネジャーから見た地域課題について」

森本 清美氏 (社会医療法人誠光会 指定居宅介護支援事業所きらら・所長)

15:15 パネルディスカッション

パネリスト:堀田 力氏、藤本 武司氏、森本 清美氏
モデレーター:佐藤 卓利

16:10 閉会挨拶

久保 壽彦 (立命館大学 経済学部・副学部長)

参加無料

参加ご希望の方は、下記URLよりお申込みください。

<http://bit.ly/shasys1115>



立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館5階 大会議室

「南草津駅」で近江鉄道バス「立命館大学行き」
または立命館大学經由「飛鳥グリーンヒル行き」
に乗車後、約20分。

※駐車スペースに限りがございますので、
なるべく公共交通機関をご利用ください。



主催 立命館大学社会システム研究所

後援 滋賀県、草津市、京都新聞、立命館大学経済学会

<お問い合わせ先>

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1
立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス 上杉

TEL 077-561-3945

MAIL social-s@st.ritsumeikai.ac.jp

R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY